

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	中学生もほうかご学習ひろばに参加できたらうれしい。	中山委員	中学生を対象とする場合には学習を教えられるだけの力が必要となってきます。今後も、対象をどうすべきかについては検討してまいります。 また、必ずしも学習にこだわらず、子ども食堂のような居場所に通っていただくのも一つですし、スクールカウンセラーも増強しているので、吐き出す場として活用していただきたいと思いますと考えております。	(当日回答のとおり)	こども教育
2	ほうかご学習ひろばについて、外からしか教室をうかがえず、どんな様子なのか見に行ってもいいのかなと思う。	谷委員	子ども食堂やほうかご学習ひろばの見学について、子ども食堂は直接運営しているわけではありませんが、お声がけしたらオープンに受け入れていただけるのではと思います。ご心配ならば区役所が中継ぎすることもできます。ほうかご学習ひろばは区役所にお声がけいただければ、あらかじめ事業者にお伝えさせていただきます。	(当日回答のとおり)	こども教育
3	子ども食堂に参加してみたいが、保護者以外の大人が参加するのは難しいのか。	池田委員			こども教育
4	子ども食堂の参加対象などには取り決めがあるのか。各事業者に任されているのか。	彦坂委員	ほうかご学習ひろばは小学生が校区外に出てはいけないルールがあるため、校区ごとに開催しております。子ども食堂は公に取り決めがあるわけではありませんので、各団体がそれぞれの考え方に基づき運営されています。	(当日回答のとおり)	こども教育
5	子ども食堂の事業に参加していることを示す統一のマークはあるのか。	彦坂委員	都島区では各団体に連携はなく、区役所も市社協のホームページで把握しています。統一のマークはありませんので、今後連絡会が立ち上がればPRや工夫についてご相談できるかと思います。	(当日回答のとおり)	こども教育

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
6	子ども食堂の場所について、地域密着型で利用しやすく、地域の人材のスキルも生かしやすい、例えば福祉会館のような場所がふさわしいのではないか。	鷹取委員	子ども食堂という新しい取組をやるという層と従来地域で活動されている層が違うのではないかと思います。地域にはまだ使える資源があるので、連携を取れるような体制を考えていきたいです。 また、学校を借りることもできるかもしれませんが、施設管理の責任を誰が持つのかなど工夫が必要になります。	(当日回答のとおり)	こども教育
7	小学校や中学校で子ども食堂を開くことはできないのか。	鷹取委員			こども教育
8	子ども食堂は地域のでやならなければならない。担い手はどんどん高齢化している。地域ごとに学校と地活協が連携すれば、世代を超えてつながりが生まれ、防災にもつながるのではないか。	江川委員			こども教育 市民協働
9	昔は子ども会が子どもの居場所だったが、子ども会に入る子どもが減り、子ども会活動が少なくなっている状況もある。	伊藤委員	子ども会は社会経験の提供など、子どもに居場所を提供する役割を担ってこられました。子ども会は市民協働、地域の扱いではありますが、役所が活動を応援する中で、福祉的な視点も必要かと思っています。	(当日回答のとおり)	こども教育
10	子どもの居場所づくりの広報について、どういふふう小学校と連携しているのか、活動を周知しているのか知りたい。	彦坂委員	ほうかご学習ひろばの広報については、ホームページを作成するほか小学校と連携してすべての児童に案内を配付しており、対象となるご家庭には確実に情報を届けています。	(当日回答のとおり)	こども教育

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
11	子どもの居場所づくりについて、区役所がSNSを利用して広報してほしい。都島区の居場所づくりの連絡会が立ち上がったら、認定のステッカーを作ってほしい。	江川委員	(その場での回答無し)	(回答5のとおり)	こども教育
12	塾代助成金を取っている人は少ないと聞いたことがある。余った予算をまとめて居場所になる勉強の場所をつくることに充てることはできないか。	江川委員	塾代助成に関しては、事業の目的もあり、できるだけ取得率を上げて有効活用いただけるよう努めてまいります。居場所という意味ではこどもサポートネットという福祉につなげる役割の職員もいるので、そのような制度も活用していければと思います。	(当日回答のとおり)	こども教育
13	不登校の子どもの支援をアプリで提示することができたら、子どももどんな支援があるのかわかりやすく、支援が広がるのではないか。	鷹取委員	不登校に関してはいろいろな問題があるため、スモールステップを作っていく必要があります。そしてその一つとして子ども食堂やフリースクールのような活動があります。活動を広く知ってもらうことは大切ですが、特徴を強調しすぎるとスティグマとして活動に色をつけてしまうので、広報の仕方が難しいです。ただ行けば楽しいイメージがつけば、いろいろな人が入ってくるので、その中にたまたま困っているお子さんがいる形になればよいかと思います。	(当日回答のとおり)	こども教育
14	小学校では登校したときに心の天気というアプリで晴れとか曇りとか押すようになっていて、心の様子を酌み取れるようになっている。中学生にも子どもの心情がわかるアプリはないのか。	伊藤委員	心の天気については中学生でも行われています。小学校では徹底されていると聞いておりますが、中学校の浸透状況は確認させていただきたいと思えます。	(当日回答のとおり)	こども教育
15	オンライン授業のときにWi-Fiを貸し出しているなら、不登校の子にそのまま貸して毎日アプリを押してもらえれば、ちょっとでもつながりができるのではないか。	江川委員	いろんな形で子育て支援室（区役所内の機関）につながっているお子さんがいるいらっしゃいますが、不登校のお子さんに関してはWi-Fiでつながること自体を拒否したり、保護者の方に学校側からお手伝いを提案しても受け入れてもらえなかったりする場合があります。	(当日回答のとおり)	こども教育

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
16	ヤングケアラーの定義はなんですか。	江川委員	18歳未満で家庭内のケアに追われて本人に困りごとが出ているケースをヤングケアラーという定義で扱っております。	ヤングケアラーについて、詳しくはこちらをご覧ください。 （参考）厚生労働省特設ホームページ「子どもが子どもでいられる街に。～みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して～」 <a href="https://www.mhlw.go.jp/young-carer/">https://www.mhlw.go.jp/young-carer/</a>	こども教育
17	ヤングケアラーについて、最近コマーシャルで耳にするようになったが実際の話が聞かない。どうしたら話せる場所をつくったり、提供したりすることができるのかというような考えはあるのか。	谷委員	大阪市では学識経験者も入れてヤングケアラーの対策会議を開いており、一つ一つ対策を実行していくところです。 子育て支援室にヤングケアラーじゃないですかという相談があることはほとんどなく、学校が不登校や遅刻などに着目し、子育て支援室がそういった生活の乱れの理由をひもといていく中で、ヤングケアラーではないかとわかってきます。 地域で身近なお子さんの様子を見ておられる方が気づき、気になる子どもがいるとご相談いただけたら、区役所で学校と連携しながら支援していくのでご協力お願いいたします。	(当日回答のとおり)	こども教育